



Weekly 第113号

個室ユニット推進協ニュース

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会

〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町171-1 TEL: 045-921-0462 / FAX: 045-921-0472

直近の介護関連ニュース(ダイジェスト版)をお届けします。
今週号は2019(令和1)年7月8日(月)~7月15日(月)までの1週間です。
詳細は厚生労働省や各団体のHPなどで確認してください。**赤字は重要ニュース。**

■人口減最大43万人減 外国人は最多 19年人口動態調査(7月10日)

総務省の住民基本台帳に基づく「人口動態調査」(19年1月1日時点)によると、日本人は1億2477万6364人で10年連続の減少。前年比43万3239人減で減少幅は調査開始以降で最大。一方、外国人は16万9543人増え、過去最多の266万7199人で総人口(日本人と外国人の合計数)に占める割合が初めて2%を超えた。生産年齢人口(15~64歳)で見ると、7423万887人で61万3028万人減。若い外国人労働者が増えている。

■推進協 第1回「新・ユニットケア検討委員会」(7月10日)

ユニット型施設は重度化にどう対応していくべきか。この課題に対応するため推進協は同検討委員会の初会合を開催した。冒頭、委員会の設置を推進した赤枝眞紀子推進協事務局長が「人員配置が厳しい中で一人ひとりの個別ケアを実現し、重度化にどう対応していくのか、みなさんで意見を出し合い新しいリーダー研修、ユニットケアを構築していただきたい」と趣旨説明。同委員会として今後2年かけて新たな知見の集約や経営視点の妥当性検証、啓発広報、研修事業等への落とし込み等を実施することを確認した。

■特養「壱ノ町」が合格 実地研修施設選定 研修事業合同会議(7月11日)

2019年度ユニットケア研修推進事業合同会議が開かれ、ユニットリーダー施設管理者研修の新運営委員長に井手明利委員(推進協ユニットケア推進事業推進室長)を選任する第1号議案、社会福祉法人萩の里が経営する「特別養護老人ホーム壱ノ町」(宮城県利府町)を実地研修施設として合格とする第2号議案をそれぞれ了承した。また事務局が研修受講状況や研修業務委託契約状況、「新・ユニットケア検討委員会」の活動状況などを報告した。